

プレーヤーがプレー当日中にスコアを提出しなかった場合は：

- そのプレーヤーのハンディキャップインデックスは、プレーの翌日に更新されない(規則 5.4 参照)。
- そのスコアは、当日のプレーイングコンディション計算(PCC)に含まれない(規則 5.6 参照)。

そのスコアがプレーヤーのスコア記録に登録された日が、プレー日の翌日以降で既にプレー日の PCC が算出された後だった場合、そのプレーヤーのスコアは PCC に含まれないが、そのプレーヤーのスコアディファレンシャル計算には PCC 調整値を適用するべきである。

スコアが順不同で提出された場合は：

- 正しい時系列順でプレーヤーのスコア記録に登録するべきである。
- 既に公表されているプレーしたゴルフコースの当日の PCC 調整値を、スコアディファレンシャル計算に適用するべきである。
- プレーヤーのハンディキャップインデックスを再計算すべきである。

注：

ハンディキャップ委員会は、繰り返しスコアの適時提出を怠ったプレーヤーに関して調査するべきである(規則 7.1b 参照)。

そのプレーヤーが不当な利益を得るために行動したことを示す証拠が存在しない場合は、介入する期間に提出されたすべてのスコアは、ハンディキャップ査定のために有効とするべきである。

4.4 スコアの証明

ハンディキャップ査定のために提出するスコアは、ラウンド終了後できるだけ速やかにスコア相互検証が受けられるようにしなければならない。スコア相互検証のプロセスを促進するために、以下の手順を実施する：

- プレーヤー、またはプレーヤーに委任された者は、ラウンド終了後できるだけ速やかにスコアを提出しなければならない。
- ハンディキャップ委員会は、提出されたスコアを、できるだけ速やかにプレーヤーのスコア記録に登録するように努める。

規則4.4aの解釈：

4.4/1 – スコアの証明方法としてのスコア相互検証の意味

スコア相互検証とは、通常以下の者によって実施される：

- 同じ組でプレーする者またはそのラウンド中に一緒にいる者、および／または、
- 同じゴルフ倶楽部にプレーヤーとして所属するメンバー。

すべての場合において、これらの者は以下の条件を満たしていなければならない：

- 提出されたスコアを支持したり、提出されたスコアに異常があるプレーヤーに対して異議を申し立てるための合理的根拠を持っている。または、
- プレーヤーの実証された技量に関する知識を持っており、そのプレーヤーに付与されたハンディキャップインデックスを合理的に確認したり異議を申し立てることができる。

異議はプレーヤーに対して申し立てられるものとし、および／またはハンディキャップ委員会に報告して検討を仰ぐ。

スコア相互検証の手順を円滑に実施できるようにするため、プレーヤーのスコア記録はゴルフ倶楽部のその他すべてのメンバーが閲覧できるようにしておかなければならない(付属規則 B 参照)。

4.5 初回ハンディキャップインデックス取得に必要なスコア枚数

初回ハンディキャップインデックスを取得するためには、プレーヤーは最低 54 ホールの採用可能なスコアを提出しなければならない。